

## 『事務局通信』第20号

平成30年10月15日発行  
発行者 熊本県里親協議会 会長 岩見照也  
編集責任者 事務局長 宮津美光

協議会事務局では里親同士、里親と児童相談所または里親と地域社会を『つなぐ』をテーマに事務局通信を発行しています。

私たち里親自身が里親のために取材をし、分かりやすく編集してまいります。

### お知らせ1 助成事業案内が届いています！

#### 事務局に下記・その他の助成事業があります

- PMJフォスターファミリー奨学助成2019
- 子どもの福祉等地域福祉向上の活動を応援する助成
- JaSPCAN(ジャスピカン)の入学支援金
- 未来のつばさ自立奨学支援制度(楽天)

※詳細についてはそれぞれのHPでご確認ください。協議会事務局でも受け付けています。

### お知らせ2 今年も七五三の助成事業案内！

「幼い子どものゆたかな育ち応援助成」の募集が始まりました。(株)ジェイ・ストーム(レコード・映画制作会社)からの寄付をもとに、社会的養護の下で生活する児童のゆたかな育ちと、社会に向けて自立へと歩みを進める児童を応援する目的で、具体的には七五三を祝う費用の一部を助成します。

対象は乳児院、里親家庭、ファミリーホームで生活する満3歳・5歳・7歳(2018年4月2日～2019年4月1日)になる男児・女児。過去に本助成を受けた児童も申請可。一人3万円上限。締切11月30日消印有効。詳細は以下までお問い合わせを。申請書は全国里親会のHPからもダウンロードできます。問い合わせ社会福祉法人全国社会福祉協議会 児童福祉部Tel:03-3581-6503

### お知らせ3 みんなで集まりましょう！

協議会役員会を10月16日におこないました。協議会全体の協力と参加で10月27日に秋の交流活動を行うことに決まりました。別紙案内をご覧になり参加をお願いします。

### お知らせ4 フォスターリングチェンジ

皆さんはフォスターリングチェンジ・プログラムをご存知でしょうか？2016年より我が国に導入をされた里親委託後支援のためのプログラムです。12歳までのお子さんを対象に養育者と子どもの

関係性を基盤として、その上にスキルを積み上げていくといった内容になっています。このプログラムは3年目になります。受講者にも概ね好評で、今後は思春期の子どもを対象としたover12というプログラムも実施する予定にしています。これから、県内すべての里親さんに受講していただくことを目的に頑張っています。みなさん、ぜひ研修プログラムを受講しましょう。

※問い合わせは「優里の会」までお願いします。

ファシリテーター 山川

### お知らせ5 熊大政策フォーラムに行きました

前熊本市長幸山氏が“このとりのゆりかご”について、元愛知県児童相談センター長 萬屋氏による“愛知方式とよばれる赤ちゃん縁組”、福岡市こども総合相談センター長 藤林氏の“里親先進都市福岡の取り組み”についての講演がありました。その後前知事の潮谷氏を交えてパネルディスカッションがありました。

私は以前から福岡市の里親普及の取り組みに興味があり、参加しました。福岡市では市民と行政、専門機関との連携で「新しい絆」という里親普及事業のプロジェクトがスタートし、着実に里親への委託が増え、全国的にも注目されるようになったそうです。



フォーラムで感じたのは、ネットワークの大切さです。助けが必要な子どもたちを保護する人たち、子どもたちに新しい家族を提供するため活動する人たち、自分たちの家庭に子どもたちを迎える人たち、その新しい家族を支える人たち、そういう方々が熊本にもたくさんおられます。それぞれがもっと信頼し合いつながるなら、この熊本でも何かが出来るような気がしました。里親家族がもっと当たり前になること、そして子どもたちの笑顔を願っています。

里親 中村恭子

## 「心温まるエピソード」投稿募集

里親家庭では子どもとの新たな出会いから始まる日常生活の中で、さまざまなエピソードがあります。そんな出来事の中から、心温まる出来事を募集します。思い出の絵や作文、写真などのようなものでも結構です。

すべては子ども達の幸せを願って

佐藤 寛 (ASOの父ちゃん)

時が過ぎ、現在大学生。段々と大人になって来た。振り返れば本当に私たちは彼によって、感動あり、涙ありと数限りないことを思い出す。そして、いつかは私達の手元から旅立って行く事に、淋しさを感じない訳には行かない。それはごくあたりまえかも知れないけれど、実子のいない私たちにとっては実子であると共に、又その様に育てて来た。

彼が中学生の時、私が駅まで送って行った折、よそのおばちゃんが彼に「おじいちゃんに送ってもらって良かったネ」と言われた。すると彼はすかさず「いいえ、父です」と言った。この言葉がどれ程大きな意味を持ち、そして、私と彼との間は大きな絆で結ばれているのを知り、ふっと目頭が熱くなって来た。ある日、妻が捻挫をした時に彼が妻をおぶってくれた。妻は初めての事で、恥ずかしそうな顔を思い出せば、本当に彼が大きな大きな私たちの柱になってくれている。

やはり、子どもにとって親として教えておかななくてはならない事は、世の中の辛さやきびしさ。そして、全てにおき礼節さを兼ね備えなければならぬように思う。又、そんな教育も必要でなからうか。そういう私でも、彼にどこまで出来たかは不透明な事である。子どもとは本当に素晴らしい要素をたくさん持っている事を忘れてはいけない。彼がこれから先どのような形になっても、私達は彼を実子と思っている。これからの人生においても親と子の関係、そして絆を持ち続けるであろう。ある人が言った言葉に“辛いという字に一をたすと幸せになる”。彼の人生、周りの子どもたちもそうあってほしいと節に願っている。

あなたの居場所はここですよ。父と母はいつも、いつもあなたに手を差し伸べ待っていることを、忘れないでほしいと・・・そして、最後に皆様をお願い致します。それは、里子を“預かった”ではなく、こどもを“授かった”という思いで養育してほしいと思います。



・・・当時の事務局長さん、すみません。

## すべては子どもたちの幸せを願って!

温かいご支援ありがとうございます

〈賛助会員入会〉年間5千円

・特定非営利法人 優里の会

〈支援企業・支援団体〉年間5万円(1口)

○ふるさと元気ドレッシング工場

○株式会社 三協デリカ

## 「里親カフェ」毎月第一水曜日

協議会事務所は、気軽に立ち寄りいただけるような場所になればいいと考えて、月イチで里親カフェをオープンしています。予約不要。時間が空いたらどうぞお立ち寄りください。

### 里親カフェ文庫始めました

「里親カフェ」では、里親に関連した本の貸し出しをはじめます。どうぞ、みなさんカフェにお立ち寄りください

11月7日(第一水曜日) 13:30~16:00

事務所 熊本市東区戸島町 1177-3

〈熊本県里親協議会 事務局〉

事務局長 宮津美光

事務所 861-8031 熊本市東区戸島町 1177-3

電話(Fax 同番) 096-380-4666

携帯 080-5250-4666

Eメール [pygkb624@yahoo.co.jp](mailto:pygkb624@yahoo.co.jp)

